

【 無料ダウンロード資料 】

社労士試験の勉強法

継続できる人が強い！社労士試験に合格するための勉強継続の習慣化テクニック

※約3分で読めます

社労士試験は、合格までに私の考えでは「**最低でも約1,500時間以上**」は必要と思っています。

これだけの勉強時間を「仕事・家庭・プライベート」と両立しながらこの時間を確保するのは簡単ではありません。

そこで本レポートでは、社会人でも無理なく続けられる「働きながら合格するための勉強法」をご紹介します。

勉強を確保する “ 仕組み ” を作る

まず大切なのは、時間を確保する仕組みを作ること。早朝の30分、通勤中の15分、昼休みの10分など、日常のスキマ時間を「固定学習枠」として習慣化しましょう。

1日合計60分でも、1年で約365時間、2年で700時間以上になります。

あとは、帰宅後の学習、休日の学習時間を積み上げるだけで、年間1,000時間の勉強は決して無理なことではないですね。

“効率化” を意識した学習法を取り入れる

次に、効率化を意識した学習法を取り入れること。たとえば、通勤中は過去問アプリや音声講義、夜はアウトプット重視の演習にすると知識が定着しやすくなります。

また、通信講座を利用すれば、カリキュラム管理や最新法改正の把握ができ、独学よりも効率的に学習を進められます。

完璧を目指さないこと

社労士試験の勉強で大切なのは「**完璧を目指さない**」ことです。意外に思うかも知れませんが、勉強を継続できなければ、試験に合格することはできません。

だからこそ、短い時間でも毎日継続して勉強することが大切です。

1つ1つの学習項目に完璧を求めると、勉強から遠のく要因となりかねません。

完璧な理解を求めず、とにかく継続して勉強していきましょう！

ただし、頻出箇所は、完璧といえるくらいにし

てください。

一覧表でもういちど確認

項目	内容	具体的な例・ポイント
必要学習時間の目安	約 1,500 時間以上	合格までに最低でもこの程度の学習時間を想定。仕事・家庭と両立するには計画的な積み上げが必要。
時間確保の仕組み	スキマ時間を「固定学習枠」にする	早朝 30 分／通勤 15 分／昼休み 10 分などを習慣化。1 日 60 分で 1 年約 365 時間、2 年で 700 時間確保可能。
効率的な学習法	学習時間帯ごとに目的を分ける	通勤：音声講義・過去問アプリ／夜：アウトプット演習。インプット→アウトプットの流れを意識。
通信講座の活用	学習効率と最新情報を確保	カリキュラム管理・法改正対応・動画学習などにより独学より効率的に。
完璧を求めすぎない	継続が最優先	「毎日少しでも続ける」ことを重視。完璧を目指しすぎると挫折の原因に。
頻出分野の重点学習	出題頻度の高いテーマは深	頻出分野だけは「完璧」と言えるレベルに。試験得点の柱にする。

項目	内容	具体的な例・ポイント
	掘り	

大切なことは、完璧を目指さず、まずは継続することです。

通信講座などを活用して効率化しながら、頻出分野を重点的に仕上げることで、限られた時間でも合格は狙えます。

下記、記事は資格の大原「社労士24」についてご紹介しています。

きっと、参考になるのでご覧ください。



参考記事はこちら

クリック→ [【1年勉強プラン自動化】社労24学習スケジュール作成機能](#)

しゃろうむ